

## 平成27年度 第9回国際資源学部執行部会議議事要旨

日 時：平成27年9月11日（金）13：30～15：33

場 所：国際資源学部会議室

出席者：佐藤学部長（議長）、宮本、柴山、安達、今井、藤井各委員

欠席者：なし

### 議 事

1. 平成27年度第7回、第8回（臨時書面）執行部会議議事要旨の確認  
第7回、第8回（臨時書面）執行部会議の議事要旨が確認された。
2. 教員の採用について  
宮本委員から資料2に基づき教員の採用について説明があり、当該教員の業績資料を確認後、審議の結果了承され、教育研究カウンスルに提案することとなった。  
なお、採用予定年月日は平成28年4月1日を予定している旨説明があった。
3. 教員の公募について  
安達資源政策コース長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、一部文言の修正を行うことでの了承され、教育研究カウンスルに提案することとなった。
4. 外国人客員研究員の受入事項の変更について  
安達資源政策コース長から資料4に基づき受入期間の変更について説明があり、審議の結果、了承された。
5. 国際交流協定（大学間）締結申請について  
柴山資源開発環境コース長から資料4に基づき国際交流協定を締結したい旨説明があり、審議の結果了承され、国際交流センターへ申請することとなった。
6. 平成28年度国際資源学部非常勤講師採用計画・講義実施計画について  
佐藤学部長から資料6に基づき説明があり、計画がある場合は10月30日（金）までに提出されたい旨依頼があった。
7. 海外資源フィールドワークオリエンテーションについて  
宮本委員から資料7に基づき、9月28日に開催される海外資源フィールドワークオリエンテーションについて説明があった。  
なお、Q&Aについては一部文言等を修正することとなった。
8. 危機管理WG 中間報告について  
藤井委員から資料8に基づき危機管理ワーキングの中間報告があり、海外資源フィールドワーク滞在先危険度チェックリストについて、教員の同行に関する項目を追加の上、事務から依頼することが認められた。  
なお、組織運営体制については再度検討することとなった。

9. 秋田大学大学院国際資源学研究科の設置について  
佐藤学部長から資料 9 に基づき、大学院国際資源学研究の設置が認められた旨報告があった。
10. 国際資源学部学術支援基金（仮称）規程（案）の制定について  
大川事務長から資料 10 に基づき学術支援基金について説明があり、事業内容についてもう少し検討することとなった。
11. 鉱業博物館核原料物質保管庫利用規程の一部改正（案）について  
大川事務長から資料 11 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
12. SATREPS における外国人研修員受入について  
柴山資源開発環境コース長から、SATREPS 事業により資料 12 のとおり外国人研修員を受け入れる旨報告があった。
13. マルウェア感染報告について  
佐藤学部長から資料 13 に基づき報告があり、各コースにおいても定期的にアップデートを行うなどパソコンの管理を徹底されたい旨依頼があった。  
また、事故があった場合等は調査に協力するよう各教員に周知されたい旨依頼があった。
14. セキュリティポリシーについて  
佐藤学部長から資料 14 に基づき、「国際資源学部情報システム管理委員会要項」及び「国際資源学部情報セキュリティ対策委員会要項」を制定したい旨提案があり、審議の結果、了承された。  
なお、各コースのシステム管理責任者に資源政策コースは田所准教授、資源地球科学コースは星出助教、資源開発環境コースは木崎准教授を指名したい旨提案があり、各コース長から本人に確認することとなった。
15. 秋田大学職員表彰候補者の推薦について  
佐藤学部長から資料 15 に基づき説明があり、該当者がいる場合は事務に提出するよう依頼があった。
16. 平成 28 年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について  
佐藤学部長から、資料 16 に基づき平成 28 年度以降の学部の定員超過の抑制について説明があった。
17. 平成 28 年度科研費申請に向けた取組について  
佐藤学部長から資料 17 に基づき説明があり、応募資格が得られる者は全員申請するよう依頼があった。
18. 平成 27 年度第 5 回教育研究評議会報告  
佐藤学部長から資料 18 に基づき、教育研究評議会の報告があった。

## 19. その他

### 1) 入試委員会報告について

藤井入試委員長から、大学院国際資源学研究科博士前期課程入試に TOEIC を平成 30 年 4 月入学入試から導入することが入試委員会において了承された旨報告があった。

なお、カレッジ TOEIC については、検討の結果、再度コース持ち帰り審議となった旨併せて報告があった。

### 2) 鉱業博物館報告について

佐藤学部長から鉱業博物館サイエンスボランティア事業について、資料 19 のとおり予定している旨報告があった。

### 3) トラベルメディスンについて

佐藤学部長から資料 20 に基づき、トラベルメディスンについて報告があった。

### 4) その他

なし

以 上